

材料実習

建築物に非常に多く使用されている材料であるコンクリートの性質を学習します。この実習では、コンクリートをつくる時の水・セメントなどを混合する割合を計算する調合設計、コンクリートの流動性の程度を測定するスランプ試験、コンクリートの強度を測定する圧縮強度試験を行います。



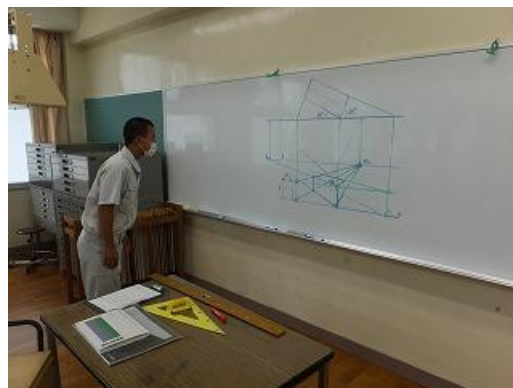
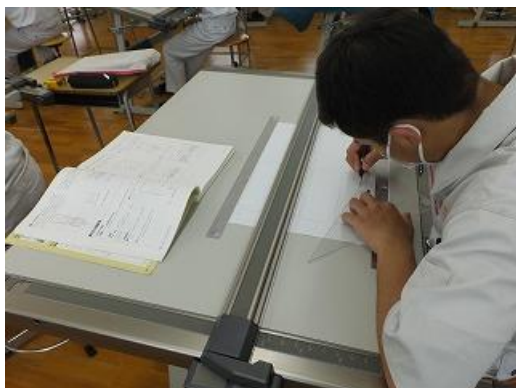
測量実習

工事を実施する上で基準となる点（基準点）・線（壁および柱の中心線など）を作業現場で機器・杭などを用いて設定する測量を工事測量といいます。この実習では、水平角および鉛直角の測定を行う器械であるセオドライトの操作を学習するほか、基準となる点・線の設定を行う作業である測設を行います。



パース実習

建築物を立体的に表現する投影法について学習し、完成予想図である建築パースに使用する透視図をかきます。この実習では、室内を表現する一点透視投影法・外観を表現する二点透視投影法による透視図のかき方や、透視図への陰影のつけ方などを学習します。



CAD実習

コンピュータによる設計をCADといいます。その中でも、製図用紙に鉛筆で図面をかく製図の作業をコンピュータに置き換えたものを二次元CADといいます。この実習では、鉄筋コンクリート構造の店舗付き事務所図面を課題にして、二次元CADソフトによる製図を学習します。

